



# 『NO WAY HOME

## 生きる場所がなくなった野生動物』



発売日：2010年9月13日  
(全国書店・ネット書店)

定価：1,500円+税(1,575円)  
著者：デイヴィッド・S・ウィルコブ  
訳者：加藤恵子  
出版社：バベルプレス  
判型：A5  
頁：227ページ

～野生動物たちが絶滅の危機に陥っています！今自然界で何が起きているのか！？～

「多くの方に、この実態を伝えたいという思いで訳しました！今年2010年は生物多様性年とされていますが、本書を読んで、野生動物やその生息地に起きている問題を一緒に考えていただければ幸いです」訳者：加藤恵子

人間の生活が多様になるにつれ、野生動物の生息数が減り続け、種の保存に必要な移住という行いが妨げられています。それは陸上だけにとどまらず、空路、水域でも起きているのが現状です。

本書は、空・陸・水の3部に分かれており、著者とその他の生態学者たちが実際に体験した調査を踏まえて、動物たちの驚くべき仕組みを紹介しています。

### 【推薦の言葉】

著者Dr.David Wilcoveは、多くの論文をレビューしながら、動物が生息数を減らし、絶滅の危機に追い込まれている要因の一つが、人間活動により移動を妨げられたからであると訴えている。水域・陸上・空路を大きく移動・遊動や渡りをする比較的良好に知られている動物を取り上げ、驚異的ともいえるその仕組みを紹介し、それらの動物に代わって「これでは生きてゆけない！」と叫んでいる。

石川県立自然史資料館 館長 水野昭憲氏より

### 【著者紹介】デイヴィッド・S・ウィルコブ(David S.Wilcove)

プリンストン大学教授。専門は生態学、進化生物学、公共問題。ニュージャージー州オーデュボン協会理事。ダーウィン科学アドバイザー協議会、ガラパゴス・コンサーバンシー委員など。野生生物保護における世界的権威。

### 【目次】

序章…… 移住

(上空で)

第一章…… 空虚な空

第二章…… チョウたちの山、バッタたちの雲

(陸上で)

第三章…… 緑の牧草を求めて

第四章…… バイソンが闊歩していた土地

(水中で)

第五章…… 海に迷う

第六章…… 流れに逆らって

終章…… 移住に未来はあるのか

謝辞・訳者あとがき・原注

### 【本件に関する問い合わせはこちら】

TEL：03-5211-3727 email:press@babel.co.jp

(担当：藪下)バベルプレス(株式会社バベル)HP：<http://www.egaiasyoten.com/>